



社会新報 (岡山県連合版)

2014年6月1日
(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
☎03-3592-7515 1部180円月700円千160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp



5月15・16日緊急街宣、写真は16日共産党との共闘、中央が宮原常幹、奥の福島代表

党県連合は5月27日、長島・愛生園の見学・研修会を開催。党員・県民17名が参加。途中、かつて東洋一と謳われた塩田跡地と小豆島が一望できる一本松で昼食。残念ながら前日の雨のせいから一面かすみがかかり絶景は望めず。

長島・愛生園の差別と隔離の歴史からまなぶ

ハンセン病患者隔離の島として、差別と偏見、人権の歴史の教訓として伝えようと世界遺産への運動がすすめられる。社民党は、社会党時代から人権闘争として参加してきたが、5月27日の長島・愛生園の見学研修会には、谷村党顧問の姿もあった。



かつてわずか300mを隔てた隔離の島も、いま橋が結ぶ。療養施設は橋から反対側、島の端にある。まずはかつて島の上陸地点であった船着場へ。遠く関東からも大阪まで列車そこからトラックで島の対岸に着き船で島に上陸する。

まず初めに人権を無視した検査で男女、年齢、子どもなどに分けられ入寮。その施設はいまも残る。環境の厳しさで逃亡する者は「勅兵の土牢」に送られる。

安倍首相の私的諮問機関である「安保法制懇」は5月15日、集団的自衛権の行使容認を求める報告書を出し、これを受けて安倍首相は与党協議をすすめること述べた。安保法制懇は首相諮問機関とは名ばかりの「行使容認」に賛成の人ばかりを集めた私的なもので、結論ははじめから決まっていた「自作自演」

より厳しかった独居房きどか。園内の納骨堂には約360の遺骨が引取り手もなく眠る。語り部の自治会長の中尾さんは戦後1949年、14歳で奈良からきて64年を経る。当時、島ではほぼ自給生活、重症者の介助や火葬手伝いなど大変だったこと、戦前には家との交流も途絶え、厳しい差別の実態を語った。歴史館には、ハンセン病の説明とと

であり、国の重大な安全保障政策の提言とは到底言えない。若者にも手こたえ。党県連合は5月15日、岡山駅前で「緊急街頭アピール」を行い、「若者の皆さんにはとくに知ってもらいたい、戦争になって誰が戦場にいくのか」「憲法は国民が権力を縛るもの、(安倍首相のように)ときの権力に都合よく解釈して変えるのは暴論」と批判。ピラを取る若者が目立った。

5月16日は、共産党と統一行動。福島代表・宮原青年女性委が共産党と交互にマイクを握った。(宮原・F/Bから)

自治体選挙を戦う組織への呼びかけ。2015統一自治体選挙、中間選挙は、16年国政選挙を戦う上でも重要な選挙と位置付けられている。今回、機会あつて遠く埼玉の地で戦われた市議補選(5月11日告示、1日投開票)に応援参加した

もに生活や島の開発に使われた道具を展示、当時を語る。差別と人権の戦いの歴史の教訓を後世に伝えようと、世界遺産を目指して準備中だが設置に関わってきた人の評価など、課題が山積みという。参加者は「隔離政策が大量に誤った認識を植え付け、まだまだ差別と偏見がある」と社会の壁の大きさを語った。(光元・大谷談 文責・野崎)



自転車2番目が宮原さん

宮原さんに聞いた。宮原さんはこの経験のなかで、「県連合挙げたの戦いであり、関東圏からも多くの議員・党員が応援、近隣の選挙に関わり、その仲から20代・30代の『議員を志す者』が出てくる基盤となつていくこと。単一県連合でものを考えていたので、ダメ、ノウハウを学ぶことが必要で『付け焼刃』では戦えない、勝てないと痛感」と話している。いま、岡山市議選に向けて議論を集中している岡山の戦いにどう活かしているかの一助としたい。

「新報」読者会 6月10日(第2火) 18時
「6月20日(第3金) 18時」時事問題懇話会
※いずれも党県連合会議室

6月20日(第3金) 18時

6月10日(第2火) 18時

時事問題懇話会

6月20日(第3金) 18時

6月10日(第2火) 18時

時事問題懇話会

6月20日(第3金) 18時

※いずれも党県連合会議室